

🌀寿都町で校外研修をおこないました🌀

今年度硬式野球部では、本校教員 OB である江口準氏をお招きし、メンタルトレーニング講座、社会問題や日常の問題をテーマにした講座などを開講し、野球だけではなく様々な角度のテーマについて考えを深めてきました。

その取り組みの一環として、11月28日（日）に「核のゴミ処理問題とクリーンエネルギーの追求」をテーマとして、寿都町での校外研修を行いました。実際に足を運び現地の方にお話し伺うことで、現在ニュースで取り上げられている「核のゴミ処理問題」などを身近に感じ、考えることができたように思えます。現地の方の重みのある一言一言に、生徒たちの心も動されていました。また、同行して下さった江口準氏にも講話をして頂き、野球部としてではなく、1人の高校生としてどう生きていくかを学ぶことが出来ました。

今年のシーズン OFF 期間のテーマは“考える”です。様々な問題について、自分の考えを持ち、考えたことを言葉や行動でアウトプットをする。野球だけでなく、1人の高校生として大きく成長することを楽しみにしています。

最後に今回の校外研修にご同行して下さいました江口準氏、現地での講話をして下さいました「子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会」のみなさま、本当にありがとうございました。



～選手の声～

2年 道下大和

今回の研修で感じたことはいろいろなことに関心を持つことが重要であることです。今回の寿都町の核のごみ問題は、ニュースで聞いたことがあったけど、政治が関係していて複雑でよくわからない。と関心を持ってきませんでした。だけど、地元住民の方の話で本当に苦しい中、僕たちのような未来の大人のために尽力している姿を見て、自分は、もっと世の中のことに関心を持つべきだと思いました。僕達には何ができるのか。それを常に考えながら世の中の問題に耳を傾け、日々過ごしていきたいと思います。

2年 梅本周

私は今回の研修で町民の会の方々の思いの強さが印象に残りました。2年生の国内研修で福島原発廃炉作業を見学してきましたが、そこでは東京電力の方など原発に肯定的な意見を持つ方の話を中心に聞き、今回は逆に風評被害に苦しむ、反対側の意見を聞きました。これらを通して思ったことは本質的な「街をよくしたい」という想いは変わらないということです。だから論争になる、答えのない問題なのだと思います。物事を判断するときは問題の本質を理解した上で平等に判断することが大切だと思いました。

2021年12月2日